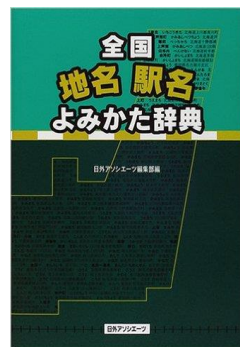


図書館では皆様からの質問・調査に図書館資料を使ってお答えする、レファレンスサービスを行っています。そんな時に役立つのが、事典・年鑑・白書など調べ物の資料、いわゆる「参考資料」です。参考資料を調べることでレファレンスが進んでいく、参考資料はいうなればレファレンスを動かすための原動機です。多くは貸出禁止ですが、このコーナーで紹介するおすすめの1冊を、ぜひ皆様も手に取ってみてください。

## 『全国地名駅名よみかた辞典』

日外アソシエーツ編集部/編  
日外アソシエーツ 2000年 R291.033/ゼ

日本全国の地名等を網羅した読みがな辞典。全国の郡名、市町村名、町名、大字など117,300件の地名、8,500件余の駅名の読みがなを収録しています。便利な「頭字音訓ガイド」「検字表」付き。旅行に行った時、読めない地名に出会った事ありませんか？ そんな時ぜひこの辞典で調べてみましょう。面白いことがわかるかも知れません。本館の参考室には2006年出版のものがあり、118,900件の地名とJR・私鉄・公営鉄道の駅名9,000件の読みかたが記載されています。又、平成の市町村大合併に対応しながら、消えてしまった旧市町村の名称も収録されています。合わせてご活用ください。



### 窓際閲覧席の利用について

現在新所沢分館では、西側窓際の26席のみ、持込みの勉強にご利用できます。朝9時20分時点でご希望の方が20名以上並んでいる場合は、座席札を配布しています。所沢市在住の方優先となりますので、ご住所の確認できるもの（免許証、学生証など）を用意して、お並びください。開館後座席札を回収に参りますので、お席の右側に置いておいてください。

### 赤ちゃんタイム実施のお知らせ

毎月第2金曜日の10時から12時まで赤ちゃんタイムを実施しています。幼いお子さんを連れた方に気兼ねなく図書館を利用していただくという時間です。この時間帯には赤ちゃんの声が館内に響く場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

### 図書館ご利用中の貴重品管理について

お財布・スマートホン・ケータイ電話など貴重品の管理にご注意ください  
本を選ぶときや、お手洗いにいくなどの少しの時間でも、置いていかない様お気をつけください。

### 編集後記

2月末に図書整理期間として5日間かけ蔵書の点検・整理を行いました。利用者の方にはご迷惑をおかけしました。気がつけば3月を迎え、これから季節は徐々に春へ向かっていきます。趣味や習い事、新しい仕事、何かを始めるにはうってつけの季節です。今から色々な本を読んで今年の春に何を始めようか考えてみてはいかがでしょうか。

新所沢分館は4月から開館5年目を迎えます。皆様に変わらぬご利用をいただければと思います。



### 読むトコ 第4巻第4号

編集・発行：所沢市立所沢図書館新所沢分館

発行日：2016年3月1日

〒359-1111 所沢市緑町1-8-3 ☎04-2929-1905

開館時間

火曜から金曜 9時半～21時

土日祝日 9時半～17時

休館日 毎週月曜日・月の最終水曜日

指定管理者 株式会社ヴィアックス

# 読むトコ

第4巻第4号 (2016.3)

## おとなの図書館ツアー

普段は入れない書庫や返却ポストを見学していただきました。修理体験や質疑応答も行い、図書館のことをより知っていただけたのでは、と思います。

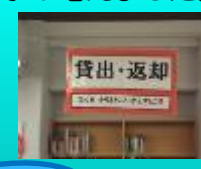


## 棚を移動しました

913.6 (日本の小説)、914.6 (日本の随筆)、大活字本、ミニ展示コーナーのレイアウトを変えました。実際にご確認ください。

## カウンターの案内板増設

カウンターの案内表示が増えました。



## インターンシップ

秋草学園の生徒さんがインターンとして、新所沢分館に来てくださいました。



2015年度

## 新所沢分館 重大ニュース!!

## 図書館寄席、朗読劇、エンディングノート

寄席は過去の講演でも好評をいただき、今年も盛況でした。朗読劇やエンディングノートの講習会は初めての試みでしたが、たくさんの方に参加いただきました。



## 図書館まつり

毎年恒例の図書館まつりを開催しました。読みたい本に投票していただく参加型の展示や、リサイクル本の一斉提供を行いました。

## 図書館スタッフのおすすめ本

館内で、図書館スタッフのおすすめ本を展示しました。図書館まつりや成人式など、イベントに合わせたおすすめ本を展示しています。「宮田分館長の今週のおすすめ本コーナー」では、一年を通して分館長おすすめの本を展示しています。



図書館をもっと便利に！もっと楽しく！

# 図書館ワンポイント講座

第4回

自分で本を探してみよう



## 資料を探すときはOPACを使おう！

OPACとは図書館のオンライン蔵書検索のことです。本や視聴覚資料が書名や著者名から検索することができます。新所沢分館には、キーボード式2台、タッチパネル式3台のOPACが設置されています。また、所沢図書館のホームページから本やCDの検索をすることもできます。

## 資料詳細の表示を見てみよう

読んでみたい資料が見つかったら、資料詳細画面を開いてみましょう。資料詳細画面には色々な情報が書かれていますが、その資料がどこにあるかを知るのに必要なのは、4カ所です。

所蔵館	採架区分	形態区分	資料状況	資料バーコード	請求記号	所在表示	備考
新所沢分館	書架	一般書	貸出可	11341941	913.6/ム		

その資料がどの図書館に所蔵されているのかが表示されます。《新所沢》と表示されているか確認しましょう。他の館名が書かれている場合は予約となります

資料がどの棚に置かれているかわかります。《書架》は資料を直接手に取ることのできる棚です。《書庫1》《書庫2》と表示されているものは図書館スタッフだけが入れる場所に保管されています。資料をお持ちいたしますのでお気軽に図書館スタッフまでお声掛けください。

資料が貸し出されているか、棚に並んでいるかが表示されています。《貸出可》は資料が図書館にあります。《貸出中》は他の利用者に貸出中の資料です。《貸出不可》は貸出できない閲覧のみ可能な資料です。

本の背表紙に貼られているラベルに記された番号は請求記号と呼ばれています。図書館の本は、この請求記号に沿って並べられています。この番号を館内にある書架図に照らし合わせれば、本の場所が分かります。

## その他にも資料を探すときに便利なボタンがあります

**地図** 該当資料の置かれている棚の地図が表示されます。資料が置かれている棚には☆印が点滅します。

**印刷** 資料の情報がレシートに印字されます。探している本が見つからないときは、こちらのレシートを図書館スタッフに渡していただければ棚までご案内いたします。



所沢図書館では所在館方式を採っています。マンガや、視聴覚資料など、所蔵館の決まっている一部の資料を除き、返却されたその図書館にそのまま保管されます。新所沢分館にあった図書でも本館に返却されれば、本館の棚に並びます。あったはずの本が見つからない、というときはお気軽にスタッフまでお声掛けください。

# ボランティアさんインタビュー

## 配(排)架ボランティアとは？

所沢市立図書館では、図書の整理や修理、おはなし会での読み聞かせなど様々なボランティアさんが活動しています。新所沢分館には、現在6名の配架ボランティアさんがいらっしゃいます。配(排)架とは個々の図書館資料を、請求記号等の所定の排列順序に基づいて、書架上に並べること。(図書館情報学用語辞典より) 今回は、小手指中学校2年生の土田真登さんにお話を伺いました。



## ボランティアを始めた経緯について

図書館のボランティアの募集を見て、自分は本が好きなので図書館ならできかなと思い始めました。

## ボランティアのやりがいについて

はじめてまだ4か月なので、お客さんに対する敬語も覚えていなくて…。まだ接客は少し緊張しますが、将来使えるなということが経験できるし、本を探してと言われて、自分が見つけるとありがとうございますとお礼を言ってもらえて、そんな時はボランティアをやっていて良かったと思います。

## 新所沢分館初の中学生ボランティアとして

自分でスケジュールを決められるので、月に2回くらいのペースで活動しています。大きい本を配架するときはカートを使うので、左右をよく見て、お客さんにぶつからないように工夫しています。

11月の図書館まつりのとき、おはなし会と工作会のお手伝いをして、子どもが喜び姿をみたとき、おはなし会の魅力を感じました。自分が子どもの頃、母が絵本をたくさん読んでくれたので、機会があったら次は自分が子どもや自分の妹に読んであげたいなと思いました。

土田さんは、忙しい学校生活の合間にボランティア活動をしてくださっています。利用者さんへの気配り、コミュニケーション能力の高さはスタッフのわたしたちが見習わなければならないところだと思います。近い将来、おはなし会で彼の姿を見ることがあるかもしれませんよ。今後の活躍に期待しています！！

## 図書館スタッフおすすめの本

『新源氏物語』(上・中・下) 新潮文庫 田辺聖子/著 新潮社 B913.6/夕

日本最古の物語である『源氏物語』。学校の授業や教養講座、講演会、読書会などで古典作品としてたびたび取り上げられます。

『新源氏物語』は原文に忠実に現代語訳されたものではありません。芥川賞作家の田辺聖子が、注釈書を見なくてもすらすら読め、原文の香気を失わせない面白い読み物として書いてみたいと思って書かれたものです。

円地文子や瀬戸内寂聴など、何人もの作家達が訳してきた源氏物語。それだけ魅力があるのでしょう。古典としてではなく、現代作家によって描かれた作品として読んでみてください。(O・N)



《今回のおすすめ本に興味を持たれた方にはこんな本もおすすめ》

「源氏物語」を題材にした田辺聖子の作品は他にもあります。

『私本・源氏物語』 田辺聖子/著 文藝春秋 B913.6/夕

光源氏の従者・髭の伴男(関西弁の中年男性)の視点から描かれた田辺聖子によるパロディー版「源氏物語」

『源氏紙風船』 田辺聖子/著 新潮社 B913.36/夕

着物や工芸品、作者・紫式部など様々な角度から「源氏物語」の魅力語りつくした一冊